

令和 5 年 8 月 8 日

南相馬市議会議長

会派名 無会派
代表者氏名 表 信司

調査研究報告書

- 1 期間 令和 5 年 8 月 2 日（水）～ 令和 5 年 8 月 4 日（金）
- 2 参加者 ① 表 信司 ②
③ ④
⑤ ⑥
- 3 旅行先及び調査研究内容 別紙のとおり

調査研究内容

月日	令和 5 年 8 月 2 日（水）～ 令和 5 年 8 月 4 日（金）
旅行先	広島県府中市、広島県三原市
調査研究事項	府中市版ふるさとワーキングホリデー事業について（広島県府中市） 空き店舗・空き家活用起業支援事業について（広島県三原市）
〔内容〕	
1. 府中市版ふるさとワーキングホリデー事業について	
8月3日（金）10:00～11:30 広島県府中市役所	
令和2年度まで、移住定住促進事業として促進事業として展開していたが、移住者の獲得につながらない状況から、移住へのハードルを下げるために移住の決断に至るきっかけづくり及び地域との関わりづくりとして総務省事業の「ふるさとワーキングホリデー」を導入することとし、令和3年度から実施している。	
事業開始以降、新型コロナウイルスの感染拡大による行動制限等を受け、延期等の対応を取らざるを得なかったものの、令和4年度には申し込み21名、実施者14名であった。	
基本的には参加者自身で宿泊先を手配しているが、受け入れ先によっては就業場所の近くの農事集会所などに宿泊することも可能で、参加者はそれ以降も再訪して就労先の仕事を手伝うなど、継続的な交流が続いているが、移住につながっている事例はなし。	
これまでの実績や受け入れ事業者の声を踏まえ、移住定住の取り組みを検証して、今後も継続するか、新たな取り組みを展開するか判断すること。	
2. 空き店舗・空き家活用起業支援事業について	
8月4日（金）10:00～11:30 広島県三原市役所	
「魅力あるまちが繋がり、活力ある、人にやさしいまち」を目指す中心市街地の都市像として、三原市の中心市街地活性化基本計画が策定されており、全体的な回遊性の低下、商店街の空き店舗数増加、移住定住施策による居住が進んでいない点を課題とし、賑わいの創出、商業の活性化、街なか居住の推進を目標に事業展開されている。	
空き店舗対策事業として、家賃・改修費の補助金や中心市街地空き物件情報登録制度などを実施している。また、（株）まちづくり三原に業務委託し、連携して中心市街地の活性化に取り組んでいる。	
今後の課題として、既存店舗への支援や商店街の復興、商店街・商栄会等のネットワークづくりや人材育成が挙げられていた。	
三原市役所での説明後、実際に改修中の店舗の現地視察を実施した。	